



民主党練馬クラブ

区政レポート

白石けい子

練馬区貫井育ち、保育士。2007年4月、「保育&介護」の現場から、練馬区議会議員に当選。民主党練馬クラブ所属。

TEL03-3990-3107 FAX03-6421-4108
http://shiraishi-keiko.net
e-mail:info@shiraishi-keiko.net

第6号

2009年3月22日発行

発行

民主党練馬クラブ
練馬区豊玉北 6-12-1
西庁舎6F
TEL 03-3993-1111
内線=7621~5

コラム -column-

区長に訊いた

- 「新基本構想・長期計画」は誰のため？
三十年ぶりに区民と考える「練馬区」の将来像であるが、単に区民に「協働」というかたちを押しつけるのではなく、運営計画に向け区民の声が反映されるような体制はあるのか？
平成十八年に審議会答申の「(仮称)自治基本条例」の今後の策定予定はあるのか？
委託・民営化、指定管理者制度など民間力導入をより促進されていくなら、情報を区民の目線で、分かりやすく提供をされていくことが重要と思うが、如何か？
□福祉は地域の人々と共にという施策は：
「高齢者いきいき健康事業」は、独自財源だからこそ、地域社会への社会参加促進のきっかけとなりうる視点(仮 ボランティアポイント制度)の導入も一考と思うが如何か？また、高齢者の「地域就労」については、雇用管理を整備することは必須ではないか？
高齢者十四万人に向けて、「高齢者がいきいきと暮らすとは何であるか？介護保険制度だけでは無い介護予防対策に向け、様々な事業施策の精査が必要ではないか？
「介護保険制度」障害者自立支援法の改定が行われるが、現場の利用者・従事者たちの関係改善には、保険者練馬区としての迅速なる対応が重要ではないか？
地域資源との「相互の力」を見つめた施策(協働)はどのように考えているのか？

□就職説明会に参加して
2月14日と3月1日の就職説明会を業界人としてのぞいた。
相談は、「福祉始めてですが...」から始まるものが多数のようだった。後は「就職すればヘルパー資格が取れると聞いてきたが」という相談も聞えてきた。広告の解釈の問題だったか。それだけ介護職は一般からははたまりがあった？
「職がないから介護へ」と。個人的には「そんなにこの業界は甘くない！」と思うが、不況ほど、良い人材が来ると言うジンクスもある。それにしても、「働き手がいない！」と現場が悲鳴を上げた時に、行政がもう少し早い対処をしてくれて良かったのではないかと。人口が70万人を突破した練馬区。独自の「手」が望まれる。
(業界人Y)

□助けて！練馬区さん？

私の友人から、相談を受けた。ある訪問介護サービスのヘルパーたちが苦しんでいたとのこと。聞いてみると、細かく書くのがためらわれるような従事者への暴言暴挙。管理者にも相談できないまま、経営者に事態の周知がされたときには、何人かのヘルパーは精神疾患に見舞われていたとのこと。そこで、経営者もヘルパーを守るべく利用者に契約の解除とこれまでの利用料を請求する旨話し、スムーズな解決を望んだが、未だ、解決には至らず...。
何故、保険者である練馬区は、利用者と直接契約だから関係ない、というスタンスでいるのでしょうか。こうなる前に解決の手立てがあったはず...と感じてならない。これからは、「事業者の問題とせず、ぜひとも前向きに、処遇困難者への対応やヘルパーの人權の守りに、練馬区の姿勢を見せてほしいものです。
(ヘルパーの友人より)

メールにて 一筆啓上

平成二十二年第一回定例会

(平成二十二年年度予算特別委員会)を終えて

◆今定例会は、平成二十二年年度予算として、「緊急経済対策」を重点事業に、基金の取り崩しを図り、中小企業向けの「スーパーサポート貸付」・「介護人材を含む緊急雇用創出支援事業」等が審議されました。

◆わが民主党練馬クラブは、平成二十二年年度予算に向けて、真摯に審議を行い「百年に一度の経済危機だから、あえて変わらない予算で立ち向かいたい」との志村区長の姿勢に対して、具体的には、

一 経済状況に関わらず予算額が、近年増加し続けており、予算の肥大化に歯止めをかける必要があると思われるが、いかがかか。

二 前例やしがらみ、既得権益にとられ、非効率ないし無駄な事業を温存し続けていると思われ、「官から民

information

参議院議員・大河原まさこさんと語る！
——区政・都政・国政の三元連携で——
「働き手・経営側に立った介護環境を作ろう」

介護等職場の従事者の人権等を考える研究会を行います。

いままであまり触れられなかった切り口から介護の今後を考えていきます。ふるってご参加くださいませ。

5月開催予定。

参加者 参議院議員 大河原まさこ
区議会議員 白石けい子



今後の活動スケジュール

- 4月6日 小学校入学式
- 4月7日 中教委員会
- 4月21日 23日 文教委
- 4月22日 総合計画等特別委員会
- 4月26日 総務委員会
- 5月9日 練馬こどもまつり
- 5月15日 総合計画等特別委員会
- 5月19日 情報公開及個人情報保護委員会
- 5月19日 文教委員会
- 6月1日 第2回定例会(人事議会)

〔編集後記〕

▲議会活動をしていると、大きな数字に慣れた感覚に陥る。これは危険。三千億余円は大変な金額。年間国家予算が百億円の小国が世界にはいくつも。区予算が万が一にも無駄に使われれば、世界の何処からか悲鳴が...
▲改めて議会のお運びをお願いしたい。傍聴を感じられたことをお伝えいただきたい。それをエネルギーとして、お目付け後の仕事に邁進していきたい。

へを推進し、行政のスリム化を打ち出していないながら、それに逆行する環境が存在するのはなぜか。

三 財政における中長期的な見通しが示されていないまま、早急な対応が迫られる「医療・介護・福祉」の施策において、予算・対策をどのようにお考えか。

という三つの疑問点について、わが会派は、質疑を通じて問題提起してきました。

これからも、区政に対してイエローカードを提出していく所存です。そして、「生活の声」を区政へ届けてまいります。皆様も、是非、議会へ、委員会へ足を運びいただき、区政の現場に立ち会っていただきたいものとお切にお願い申し上げます。平成二十二年第一回定例会の報告とさせていただきます。

目次

特集

「協働」について緊急座談会！

区長に訊いた

◆「新基本構想・長期計画」は誰のため？

◆福祉地域の人々と共にという施策は

メールにて一筆啓上

◆就職説明会に参加して
◆助けて！練馬区さん？

今後の活動スケジュール

◆参議院議員 大河原まさこ氏と語る
―区政・都政・国政の三元連携で―
「働き手の経営側に立った介護環境をつくらう」

